

第8回定例会 (12月18日)

■叙勲

平成19年秋の叙勲において、旭町の山口善信様が38年間にわたる警察功勞として「瑞宝単光章」を受章され、また、豊永の柳沼正寿様が47年間にわたる郵便事業功勞として「瑞宝双光章」を受章されました。

永年の功績に対し深く感謝し、榮譽ある受章に心より敬意を表します。

■津別町功勞者・善行者表彰式並びに文化賞・スポーツ賞顕彰式

11月3日文化の日に功勞者7人、善行者4人・1団体の方々並びに文化奨励賞1団体を表彰及び顕彰いたしました。各分野で町勢の発展に寄与された事績や多額の篤志をいただいた事、また、全国大会で優秀な成績を残した活動によるもので、心より敬意を表します。

■台湾訪問

11月10日から14日まで台湾彰化県二水郷を中心に訪問しました。二水郷長(町長)が5月に来町された答礼の意味を込めての訪台でしたが、広く参加者を呼びかけ総勢11人の訪台団となりました。二水郷では多くの歓迎を受



工芸館に展示してある毎年の入賞作品

け、299年目となる砲水祭への参加や日本人に対するロングステイ施設の見学などを行い、交流を深めてきました。早速、友好都市の話も出ましたが、今後、多くの方の意見を聞きながら交流のあり方を考えていきたい。

■津別ウッドクラフト展

「あつたらいいなあ、こんなもの」をテーマに全国各地から36作品の応募をいただきました。

11月19日に実施した審査会では、大人の部、子どもの部合わせて10人の入賞作品を決定しましたが、審査員からは、「木の素材を活かした作品が多く、それぞれの個性や力作が揃い、造形的、鑑賞的にも素晴らしく、非常に多彩なクラフト展となった。」との講評をいただきました。

■グレステンスキー場



5月3日から10月28日までの土日・祝祭日と7月20日から8月20日までの計87日間の営業で、利用者数は1千429人(前年比14人減)となりました。来季に向けても「夏スキーが滑れる町・つべつ」として、利用拡大に向けてPRに努めていきたい。

■ふなばし緑化フェア

船橋市で10月2日から約1か月間開催され、その中で津別町の出店ブースを設置しました。このイベントに木材工芸品の出展をされた町内企業関係者の皆様にお礼申し上げます。

■パークゴルフ場の利用状況
平成19年中の最終利用者数は、2万9千454人(前年比2千264人減)で、1日平均184人(前年比23人減)となりました。

た。利用者の内訳は、町内65・8%、町外34・2%となっています。

■第1回魅力発見ツアー

カメラを片手に町内を探索した成果の発表会が行われ、ツアー参加者から、遊休土地建物の活用も含め35件の提案がありました。これらの提案と手法については、第5次総合計画策定等の参考にしたいと考えています。

■クリーンセンター焼却炉のダイオキシン類測定結果

10月に実施したダイオキシンとばいじん濃度測定の結果、2号炉・3号炉いずれも基準値より低い数値となりました。

■青少年海外研修派遣事業

津別高校の生徒5人(引率2人)を10月10日から10日間ニュージーランドに派遣し、様々な体験と研修を重ね無事帰町しました。

将来を担う若者として、異なる国の文化や生活習慣を通して国際的な視野を広められたものと確信しています。

■民生委員・児童委員の改選

今年には民生・児童委員の一斉改選期にあたり、津別町民生委員推薦会での審議をいただきながら新任4人、再任22人の民生委員・児童委員が決定され、厚生労働大臣等の委

嘱状を伝達したところです。

■津別峠展望施設

道の冬期通行止めが10月31日で閉鎖しました。今季の峠展望施設への入り込み者数は、昨年を7千人余り上回る6万5千568人の入り込みとなり、四季折々の素晴らしい景観を満喫していただけたいと思います。



■温水プールの利用状況

5月1日から10月31日までの開館期間中、利用者総数は1万4千789人で1日平均94人(前年比4人増)となりました。

◎その他報告された事項

■寄附 ■南アルプス市「ありがとっ、心あつたか祭り」 ■建設工事等の発注状況

委員会活動

常任委員会 特別委員会

各常任委員会・特別委員会は議会の閉会中も委員会を開催し、所管事務について協議しています。

総務文教常任委員会

第6回（11月8日）

- ・町内視察結果について
- ・第5次津別町総合計画策定に係る進め方について
- ・ごみ処理施設について
- ・共和地区集会施設について

第7回（12月7日）

- ・職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・職員住宅建設資金の助成に関する条例の廃止について
- ・グループ制について
- ・北海道消防広域化推進計画について
- ・第5次津別町総合計画策定の基本的な考え方と進め方について
- ・総合計画策定審議会条例の一部改正について
- ・森の健康館及び山村宿泊体験施設の改修について
- ・新ふるさと定住促進条例の一部改正について
- ・使用料条例及び共和集会施設の設置

及び管理に関する条例の一部改正について

- ・ごみ処理計画について

産業福祉常任委員会

第6回（11月7日）

- ・町内視察結果について
- ・公的資金補償金免除繰上償還について
- ・第5次津別町総合計画策定に係る進め方について

第7回（12月7日）

- ・国民健康保険税条例の一部改正について
- ・福祉灯油助成事業実施要綱の制定について
- ・在宅福祉移送サービス事業実施要綱の一部改正について
- ・通院等交通費助成事業実施要綱の一部改正について
- ・心身障害児交通費等支給規則の一部改正について
- ・個別排水処理事業受益者分担金条例の一部改正について

・農業集落排水事業受益者分担金条例の一部改正について

- ・第5次津別町総合計画策定の基本的な考え方と進め方について
- ・総合計画策定審議会条例の一部改正について
- ・森の健康館及び山村体験宿泊施設の改修計画について

議会運営委員会

第11回（12月14日）

- ・第8回定例会の運営について
- ・意見書等の取り扱いについて

決算審査特別委員会

第2回（10月30日）

- ・一般会計他7会計の認定について

議会広報特別委員会

第13回（1月18日）

- ・議会報122号の編集について

議会日誌

10月

- 30日 決算審査特別委員会
- 31日 オホーツクブロック林活議連総会
(北見市)

11月

- 7日 産業福祉常任委員会
- 8日 総務文教常任委員会
- 19～21日 産業福祉常任委員会道内行政視察
(足寄町、浦河町、標茶町)
- 20日 地方自治法施行60周年記念式典
(東京)
- 30日 町村議会議長全国大会(東京)

12月

- 6日 管内議長会臨時総会(上湧別町)
- 7日 総務文教常任委員会
- 7日 産業福祉常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 18～19日 第8回津別町議会定例会

1月

- 18日 議会広報特別委員会

◎その他提出した意見書

森林環境税(仮称)の導入を求める意見書

◆提出先 北海道知事

産地づくり交付金等の税制特例による一時所得扱いの継続を求める意見書

◆提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣
農林水産大臣、財務大臣

割賦販売法の改正を求める意見書

◆提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣
経済産業大臣

意見書

関係行政庁へ
提出しました

第二期地方分権改革にあたり地域間格差の解消を求める意見書

【要旨】地方分権改革推進法の成立以後、第二期地方分権改革の議論が進んでいますが、三位一体改革により進められた施策の結果、地域にどのようなことが生じたかを責任ある各機関はまず検証し、その実態を明らかにすることが必要です。改革の結果、いわゆる都市と地方の地域間格差が拡大し、食料等の供給や治水利水防災機能の維持など国民生活の安全・安心を支えている地方は、財源不足から効率的な産業構造への転換や生活条件の改善など必要な施策を打てずに危機感を募らせています。このため、第二期地方分権改革にあたっては、地域間格差が解消されるよう下記の事項を強く要望します。

記

1. 三位一体改革がもたらした地域間格差を検証し、地方公共団体の財政状況が改善されるよう慎重な議論をすること。(以下、省略)

◆提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
総務大臣、財務大臣

医師・看護師等の大幅な増員を求める意見書

【要旨】全国の医療現場は、かつてなく過酷になっており、医師や看護師等の不足が深刻化しています。北海道では、医師・看護師の確保が困難なために、診療科の縮小や病院を閉鎖するケースもあり、このままでは北海道の地域医療が崩壊してしまうことさえ危惧されます。

政府においては、医師・看護師の大幅増員を保障する確保対策を強化するよう要望します。

記

1. 看護師等を増員するため、月8日以内に夜勤を規制するなど「看護職員確保法」を改正すること。
2. 医師の養成を増やし勤務条件の改善を図るため、医師確保に向けた法律を制定すること。(以下、省略)

◆提出先 内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣
財務大臣、文部科学大臣

はぐるま

—歯車—

波のように寄せ
ては返す人生、静
まる時がない。負
けてなるかと思
うが、ぬかるむ悪路
や上り坂、考えて
いたら嫌になる。
昨年、心が歪ん
でしまったか「偽
り」ばかり。原油
高騰でガソリン・
食料品、何でも上
がり、日々の不安に夢や希望
も薄れてしまう。困った時は、
誰かに相談すれば良い話も出
るし気も晴れる。住みよい町
を築くため共に励まし合っ
てがんばろうと思う。

今年の正月は大雪も降ることなく穏やかである。先日の夜更け、ある女性ボクサーの戦いをテレビで放映していた。女性でありながら、打たれ続けてもなお相手に立向かい前進する姿、タイトルにかけた執念と根性の強さ、技を身に付けタイトルを掴もうとする姿にベルトの重さが伝わってくるようだ。やり抜く女性の生き方を見て心に刺激を受けた。正月のように穏やかではいられない。我が努力の足りなさを感じ、「努力」「成功」を胸に、今年も新たにがんばろうと思う。
(柏倉)